



## ふるさと会よりご報告

会長（高松市観光大使）

池田 克彦



今年の3月東北に大地震被害があり大変な春先でしたが、8か月経過した今日復興復旧が急ピッチで進められています。が被害規模が途方もなく大きいことから相当の期間が必要の様です。さて会員の皆様お元気のことと存じます。ふるさと会活動にご理解ご支援いただき有難うございます。今号は5月以降の活動報告をさせていただきます。

5月は松茸山再生で、塩江に京都から吉村文彦氏をお招きし、山の診断と松茸再生に関する講演を実施戴き可能性のご助言を戴きました。今年はふるさと会が創立されて20周年、6月25日都内で記念すべき総会の開催と旅行を地元塩江町関係者と東京・別海ふるさと会と合同で道東・別海町を訪ねました。水沼別海町町長ら多数の方から歓迎を受けお世話になりました事御礼を申し上げます。創立20周年の記念行事として機関誌「かたかたどうし」第4号を発刊、高松大学津森教授のご指南で松平殿様始め文化人の方々から塩江の文化について、大西市長、妻鹿市議会議長、佐藤市会議員、松尾香川県東京事務所長、伊勢野市産業経済部長、尾形塩江支所長ら各氏からもご多忙のところご寄稿戴き感謝申し上げます。

7月塩江中学創立50周年行事について関係者（塩中PTA・実行委員長・塩中卒1期生等）と打ち合わせしました。8月高松市議会が開催され、補正予算と条例について市長側より提出された。代表質問では、市長の政治姿勢、地域主権、防災、市立病院、まちづくり、水道事業、教育文化等がなされた。一般質問では、地元佐藤議員が空き家バンク制度の創設を行い、空き家の再生と活用による地域の活性化策の一つとして過疎地域等を対象に制度のモデル的な実施を検討する。との見解をえしました。9月定例の高松市議会が開催され、補正予算と条例について市長側より提出された。代表質問では、行政改革、市立病院、まちづくり、産業経済、福祉、教育等がなされた。24日横浜「こどもの国」で根室の旬を楽しむ会を東京・別海ふるさと会の呼びかけで参加し、秋刀魚を鱈腹食しました。10月塩江中学上原校長と面談、創立50周年記念行事でふるさと会より記念植樹を申し出しました。22日首都圏・関西圏ふるさと会員の参集のもと、新米の保存と美味しい炊飯の仕方の講習会をペンションとまで、同日午後四国新聞の取材を受けながら松茸狩りを実施しました。23日塩江中学創立50周年記念行事に卒業第1期生と塩中（PTA実行委員会）とふるさと会が参加し記念植樹目録贈呈（枝垂れ桜）と事業支援（助成金等）を実施しました。他ふるさと会役員会を数回開催しました。

今年、楽しみにしていました「ふるさと会総会」と、「創立20周年記念旅行」に参加させていただきました。塩江から総会には、9人が、そのうち北海道旅行には、6人が参加しました。別海町に着いて、エビ祭り、懇親会と、水沼町長さんをはじめ、たくさんの皆様が大歓迎いただき、感激いたしました。私は、別海町訪問は3度目ですが、今回は、塩江町時代に友好都市交流の関係で、個人的に親しい友のお宅に訪問したり、会食をしたり、思い出に残る旅となりました。

このような記念すべき旅の計画から準備、当日までお世話いただきました東京・別海ふるさと会、高松・塩江ふるさと会の幹事様はじめ役員の皆様から心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

## 総会参加と北海道の旅



塩江町 藤澤 一代  
朝夕の冷え込みが、日一日と塩江に秋の訪れを感じさせてくれる季節になりましたが、皆様如何お過ごしでしょうか。

去る6月25日、東京総会に塩江町より9名参加させていただきました。平成23・24年度の事業計画の一

## 特集 創立20周年記念行事

（総会・北海道旅行）

記念総会



## 総会と記念旅行に参加して

塩江支所長  
尾形 進

ふるさと塩江は、秋が深まり、朝夕は少し寒くなりました。近くの神社では境内がまっ黄になるほど銀杏の実が落ちています。

今年、楽しみにしていました「ふるさと会総会」と、「創立20周年記念旅行」に参加させていただきました。塩江から総会には、9人が、そのうち北海道旅行には、6人が参加しました。別海町に着いて、エビ祭り、懇親会と、水沼町長さんをはじめ、たくさんの皆様が大歓迎いただき、感激いたしました。

私は、別海町訪問は3度目ですが、今回は、塩江町時代に友好都市交流の関係で、個人的に親しい友のお宅に訪問したり、会食をしたり、思い出に残る旅となりました。

このような記念すべき旅の計画から準備、当日までお世話いただきました東京・別海ふるさと会、高松・塩江ふるさと会の幹事様はじめ役員の皆様から心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

つに「ふるさとのマツタケ山を復活させようという」松茸山再生事業があります。今年6月から池田会長・地元住民と本格的に山を手入れされて、10月中旬には早くも数本の収穫があったと地元の新聞に嬉しい話題が記載されていました。

また、6月26日～28日には北海道（道東）：別海訪問の旅への参加。塩江町有志・東京別海ふるさと会との合同旅行でした。尾岱沼エビ祭りや打瀬船、知床からすぐそこに見える国後島、過酷な網走監獄、サプライズだった神の湖摩周湖。美味しいエビ・ホタテ・乳製品をいただき、悠々とした大自然に迎えられ創立20周年記念行事の旅に参加できました。

3月11日未曾有の大災害が東日本を襲いました。生きるとは何なのか、豊さや幸せって何だろうと、日本人全てが向き合う時代だと思います。今、私達は塩江という宝物である「ふるさと」を大切に守っていく役割があります。その為にも皆様やこれから出会う人々との『絆』を深め、目標や仲間を持ち、次世代の為に少しでも役に立てればと願っております。

今回の旅行を結婚25周年記念にプレゼントしてくれた主人とふるさと会で知り合えた皆様のご縁に感謝致します。（塩江観光協会会長妻）



## 別海訪問ツアーに参加して

ふるさと会員  
古井 光枝

その節は大変お世話になり有難うございました。去る6月26日から29日まであつと言う間の楽しい旅でした。

私にとって北海道の旅は2回



目ですが、中標津空港へは初めて到着後、尾岱沼での「エビ祭り」見学。大魚屋で新鮮な大きなホタテや北海道のシマエビの試食に大感激！北海道に来たんだなーと実感しました！とても美味しかった！27日 羅臼町を通り知床峠をバスで回りました。途中雄大な羅臼岳を背景に記念撮影。風が心地よく澄みきった空気に心が洗われました。その後網走刑務所を見学し美幌峠を通り摩周湖の景観にうっとり遠くからではありませんが。2日目は民宿「みさき」に宿泊。家庭的な暖かいもてなしに身も心もゆったりくつろげました。美味しいものを沢山頂きゆっくり風呂につかりました。女将さん本当に有難うございました。28日トドワラを散策しハマナスの花が素敵でした。

帰りは町営の観光船に乗せて頂きました。又別海乳業公社の見学、美味しいアイスクリームを試食、日本各地の牛乳パックが壁一面に飾ってあり驚きました。設備の整った工場が乳製品が出来るまでの行程を見学。大規模なオートメーション、町の中の産業として大きな役割を果たしていることに素晴らしく思いました。

29日 印象に残っているのは何と言っても「開陽台」でのながめ。360度のパノラマに本当に地球は丸いと実感しました。

纏めとして今回の3泊4日の東京・別海ふるさと会と高松・塩江ふるさと会と地元塩江町の方々ととの合同の旅、内容がとても盛り沢山で1年分の旅行をさせてもらったような気分でした。天候にも人にも恵まれ会長さんを始め両幹事さん、皆さんの暖かい人柄に触れ一生の思い出となりました。行く先でお世話になった方々に本当に有難うございました。(千葉県在住 塩江町安原出身)



### 特別寄稿 岩部の八幡様の大銀杏の木



ふるさと会員  
大西 昭宏

東日本大震災の後、あの殺伐とした「異次元」の光景の中で、人々は「絆」の重みを確認しあい、そして犠牲者への鎮魂と、なくなってしまった故郷の復旧、復興にむけて、願いを込めて「唱歌・ふるさと」を口ずさんだことでしょう。

18歳で塩江を出てから48年、今年ほど我が「ふるさと」を意識したことはありません。

私の育った家は、岩部の八幡様の真下にあります。八幡様の境内には、樹齢600有余年、雄・雌の二本の大銀杏(県の天然記念物)が、あたりを睥睨してそびえています。

春秋の「お祭り」は、かつては宵祭りを含めて、多くの露商が店を並び、茶碗や小鉢を商う物売りの威勢のよい口上につい足を止め、村内各地域の神輿や、遠来の五段獅子の競演が、大勢の人々の興奮と笑顔を誘っていました。

塩江中学で、野球に夢中の頃は八幡様の石段を、足腰強化のため駆け上がるのを日課とし、ストライクゾーンに見合う石垣を相手に投球練習を重ねたのもこのころでした。

銀杏の木は、春には早々と若葉を出し、夏には青々と繁った木陰で、近所の人々が涼をとりながらの団らんする、場所と時を提供し、秋には「ぎんなん」がたわわに実り(境内はもちろん、我家の庭・前の道などところかまわず落ちて、その匂いには大いに閉口しましたが)出来秋の喜びをいっぱい与えてくれました。冬の景色も秀逸で、余分なものを捨てて、冬空に「すっきり」と立つ姿が好きでした。

台風の時期には、風で折れた銀杏の枝が屋根を突破り居室に顔を出したこともあったし、二階の部屋からは、安産祈願の女性であろうか、お参りの後に、雌の木の乳のように大きく垂れ下がったところに「糸」を結ぶ光景が良く見られて、生まれてくる子への母の愛を感じたものでした。

実家の兄によれば、このごろのお祭りは往時の賑わいとは程遠いらしい、さびしいことです。

そしてこの時期、毎日箒を片手に、境内の掃き掃除に「おおわらわ」だった母も「いまはもういない」私の成長を見守ってくれた、八幡様の大銀杏の木は今年も頑張ってくれた実をつけたことでしょう。

「山は青き・ふるさと」・「水は清き・ふるさと」  
今、語るべき「ふるさと」があることに感謝しています。平成23年秋に。(柏市在住 塩江町岩部出身)

### ふるさと再生にかけて

#### 1) ツリーハウス事業(高松・塩江体験場より)



10月は「ハタ・ヨガ&アロマセラピー」企画を実施しました。天気に恵まれ、参加者から森林に浮かぶツリーハウスを初めて見た驚きと感動のお言葉を頂きました。ツリーデッキから見おろす景色にテンションも盛り上がります。朝の凜とした空気の中で山根先生によるハタ・ヨガ教室からお昼を挟んでivory先生によるアロマセラピー。森林の澄んだ空気に天然アロマの香りが引き立ちます。日常の空間を離れた体験に皆さん喜んで頂きました。

#### 2) まつたけ山再生事業

町の活性化の一環として、森林再生、里山保全、椎茸と関連させた事業として23年度から取り組み。5月京都から吉村文彦先生を塩江に招聘し山の診断とご講演をお願いし松茸再生の太鼓判を戴いた。6月山を借り上げ地元仲間(後藤・植田・稲田各氏)に山の管理をお願いした。10月見事松茸の収穫ができ四国新聞に大きく取り上げられました。ふるさと会員と松茸狩りを行いその収穫で松茸ご飯を作り美味しく食しました。



#### 3) 塩江新米(こしひかり)特産事業

10月予約していた白米・玄米合わせて1,530kgの塩江の新米を地元塩江町農家に注文し送って貰いました。



### 事務局よりお知らせ

1) 10月23日塩江中学創立50周年記念事業(塩江中学・塩江中学卒業第1期生記念事業実行委員会等)にふるさと会から植樹(枝垂れ桜)の贈呈(目録)と事業支援(助成金24万円等)等を行いました。



2) アジア太平洋盆栽水石高松大会が11月18日~21日サンポート高松を主会場に栗林公園玉藻公園で展示会が開催されます。

3) たかまつ秋の食と文化のフェスタがサンポート高松多目的広場で11月18日~21日に開催されます。

### 編集後記

今年もあと2ヶ月、東北の大震災の爪痕を残して越年することになりましたが、復興復旧が一時も早く実現できる様祈念したいものです。ふるさとが何時までも昔の風景を維持でき賑わえる為に少しでも応援をしていきたいと念じています。次号は来春発刊予定です。(編集人 渡邊 剛至)